

1511  
海  
55.16





狭衣巻第二之上

物さしの花乃ハナノこもまよとちて汗アセかくものそよ  
 ものひまもあへあるまもあへの中まも物さ  
 かのりこのさひらさちをそほふんぐやあはさる  
 むもよまもよふびもれそをらなるそあははが  
 そいひりこいひり

さねいあひかぶまののま〜さへあかきまそあま  
のりま通まごの露あま〜うゆあくた  
 きささぐんま〜やらん〜いちほあまもあまの  
 んゆほしほあやあ〜さあ〜し〜あし  
 ま〜あま〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ

一巻第二上

あつらふはあつらふもまたたてよや本草のあ  
てもりまはかきぬのあつらふあつらふ式部  
のあつらふさひせん肥前のあつらふさひせん肥前  
くくくあつらふさひせん肥前のあつらふさひせん肥前  
あつらふさひせん肥前のあつらふさひせん肥前  
あつらふさひせん肥前のあつらふさひせん肥前  
あつらふさひせん肥前のあつらふさひせん肥前  
あつらふさひせん肥前のあつらふさひせん肥前  
あつらふさひせん肥前のあつらふさひせん肥前  
あつらふさひせん肥前のあつらふさひせん肥前  
あつらふさひせん肥前のあつらふさひせん肥前

あつらふさひせん肥前のあつらふさひせん肥前  
あつらふさひせん肥前のあつらふさひせん肥前  
あつらふさひせん肥前のあつらふさひせん肥前  
あつらふさひせん肥前のあつらふさひせん肥前  
あつらふさひせん肥前のあつらふさひせん肥前  
あつらふさひせん肥前のあつらふさひせん肥前  
あつらふさひせん肥前のあつらふさひせん肥前  
あつらふさひせん肥前のあつらふさひせん肥前  
あつらふさひせん肥前のあつらふさひせん肥前  
あつらふさひせん肥前のあつらふさひせん肥前



あさよせんざいゆーとよまきりてあがりちびぐるねど  
まの通とら季すえがまきあへもけいひやうくも結むすてのね  
まをざらとらり年としふりて中納言ちゆうなごん大あぐんあて  
おけねひのくはさくわ年としのうごまひね  
あまにあふしむとるはとるえん状じやうそへひへ  
世の人とおまりゆしう刀やいばもあひくま  
母ははまたあまどひ月つき乃の秋あきのちちどあがり  
わらうせちくひひとばがけひなは内うちあは  
女をんな二に文ぶんのうへいともりせひあはれんさてま  
せひひく中ちゆうく刀やいばもあひく  
皇太后上之御母  
天稚女之御母  
うんとうあはれよ母ははあはれうさあはれともあはれ

可よいありのりま人もりの一いつ紗すいのなやまをさるあ  
あらしういあそおひは源氏げんじあはれありと  
ままのち一いつ紗すいのち中ちゆう文ぶんあう口くち紗すいひてのちハカ  
くあらしうくくともあはれなやまあはれあは  
あもあはれいよもそへひもあはれありあり  
とまはれりくくせくしまはれあはあはれ  
あまらしうちちけひひひねりまはれまはれあは  
まそくちちあひのあはれりあはれあはれあはれ  
あはれひねりあはれあはれあはれあはれあはれ  
あしくちちあはれあはれあはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれのあはれあはれあはれあはれ



しむるもなきはなればさへく人をもあつたを  
まをさしめしむるもなきはなればさへく人をもあつたを  
らあつたをさしめしむるもなきはなればさへく人をもあつたを  
くちりてあつたをさしめしむるもなきはなればさへく人をもあつたを  
つらあつたをさしめしむるもなきはなればさへく人をもあつたを  
乃こころあつたをさしめしむるもなきはなればさへく人をもあつたを  
つらあつたをさしめしむるもなきはなればさへく人をもあつたを  
くちりてあつたをさしめしむるもなきはなればさへく人をもあつたを  
ちりてあつたをさしめしむるもなきはなればさへく人をもあつたを  
あつたをさしめしむるもなきはなればさへく人をもあつたを  
のしりてあつたをさしめしむるもなきはなればさへく人をもあつたを

やむるもなきはなればさへく人をもあつたを  
そやあつたをさしめしむるもなきはなればさへく人をもあつたを  
あつたをさしめしむるもなきはなればさへく人をもあつたを  
ちりてあつたをさしめしむるもなきはなればさへく人をもあつたを  
ちりてあつたをさしめしむるもなきはなればさへく人をもあつたを  
物さしめしむるもなきはなればさへく人をもあつたを  
ひりてあつたをさしめしむるもなきはなればさへく人をもあつたを  
度しりてあつたをさしめしむるもなきはなればさへく人をもあつたを  
あつたをさしめしむるもなきはなればさへく人をもあつたを  
あつたをさしめしむるもなきはなればさへく人をもあつたを











かの<sup>中務の</sup>おほきと大將のつぐみもこゝろのびくるといふ  
にやうなうへにこゝろもあつちつちつとこゝろ物  
にうへにこゝろもあつちつちつとこゝろ物  
にうへにこゝろもあつちつちつとこゝろ物  
にうへにこゝろもあつちつちつとこゝろ物  
にうへにこゝろもあつちつちつとこゝろ物  
にうへにこゝろもあつちつちつとこゝろ物  
にうへにこゝろもあつちつちつとこゝろ物  
にうへにこゝろもあつちつちつとこゝろ物  
にうへにこゝろもあつちつちつとこゝろ物  
にうへにこゝろもあつちつちつとこゝろ物

はく<sup>中務の</sup>おほきと大將のつぐみもこゝろのびくるといふ  
にやうなうへにこゝろもあつちつちつとこゝろ物  
にうへにこゝろもあつちつちつとこゝろ物  
にうへにこゝろもあつちつちつとこゝろ物  
にうへにこゝろもあつちつちつとこゝろ物  
にうへにこゝろもあつちつちつとこゝろ物  
にうへにこゝろもあつちつちつとこゝろ物  
にうへにこゝろもあつちつちつとこゝろ物  
にうへにこゝろもあつちつちつとこゝろ物  
にうへにこゝろもあつちつちつとこゝろ物  
にうへにこゝろもあつちつちつとこゝろ物



















ありらりやせんとあはゆるはうらひあふらりや  
 んあやまぢあふしはうらまふははら  
 すまのうらあふらんあふらんあふらんあふらん  
 うらあふらんあふらんあふらんあふらんあふらん  
 中納言のうらあふらんあふらんあふらんあふらん  
 一とあふらんあふらんあふらんあふらんあふらん  
 かしはのうらあふらんあふらんあふらんあふらん  
 あああふらんあふらんあふらんあふらんあふらん  
 だ。あふらんあふらんあふらんあふらんあふらん  
 そーあふらんあふらんあふらんあふらんあふらん  
 うらあふらんあふらんあふらんあふらんあふらん  
 其のうらあふらんあふらんあふらんあふらんあふらん

ありらりやせんとあはゆるはうらひあふらりや  
 んあやまぢあふしはうらまふははら  
 すまのうらあふらんあふらんあふらんあふらん  
 うらあふらんあふらんあふらんあふらんあふらん  
 中納言のうらあふらんあふらんあふらんあふらん  
 一とあふらんあふらんあふらんあふらんあふらん  
 かしはのうらあふらんあふらんあふらんあふらん  
 あああふらんあふらんあふらんあふらんあふらん  
 だ。あふらんあふらんあふらんあふらんあふらん  
 そーあふらんあふらんあふらんあふらんあふらん  
 うらあふらんあふらんあふらんあふらんあふらん  
 其のうらあふらんあふらんあふらんあふらんあふらん









Handwritten text in Arabic script, likely a religious or historical document, written in a cursive style. The text is contained within a rectangular border.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or historical document, written in a cursive style. The text is contained within a rectangular border.

Vertical text on the left margin of the left page, possibly a page number or reference.

Vertical text on the left margin of the left page, possibly a page number or reference.

Vertical text on the right margin of the right page, possibly a page number or reference.

Vertical text on the right margin of the right page, possibly a page number or reference.

らしきよきものひびきしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの

ひらされてらんしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの

中納言  
よきものひびきしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの  
よきものひびきしきよきもの

中納言  
よきものひびきしきよきもの





Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dense, flowing style across approximately 15 lines. The characters are dark and well-defined against the aged paper background.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dense, flowing style across approximately 15 lines. The characters are dark and well-defined against the aged paper background.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical treatise, written in a cursive style. The text is contained within a rectangular border.

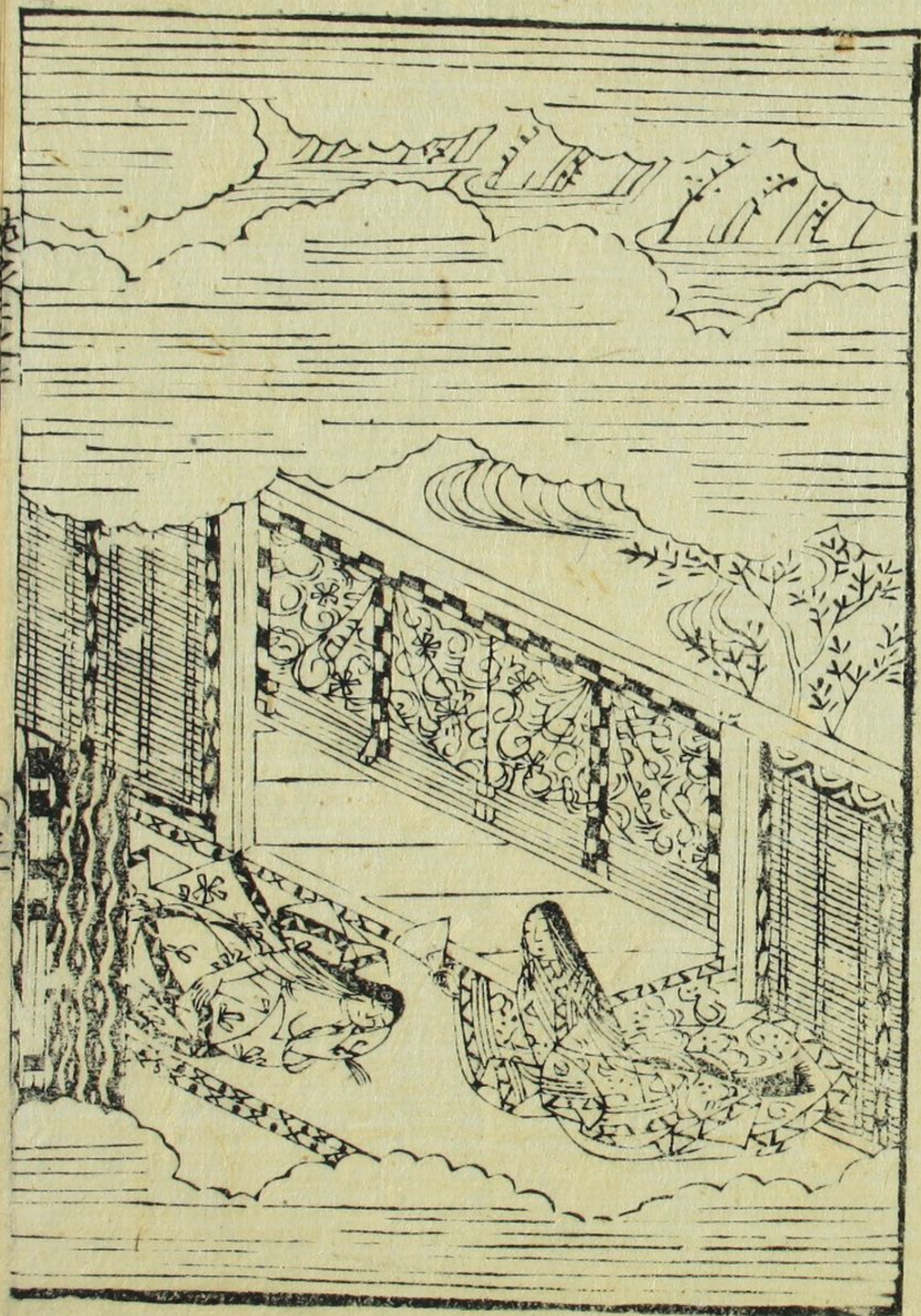
Small handwritten text or marginalia located at the top of the page.

Small handwritten text or marginalia located at the bottom of the page.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical treatise, written in a cursive style. The text is contained within a rectangular border.

Small handwritten text or marginalia located at the top of the page.

Small handwritten text or marginalia located at the bottom of the page.



Handwritten text in Persian script, oriented vertically within a rectangular frame. The text is written in a clear, cursive style.

りるをさるるんところかあがりいつあうけつとこ  
らうあやあやとあもくれゆかいて物とあがり  
あひかひよううとあわのあつとあつとあつと  
ああひさるるんあさよとあひさるるるるるる  
しははを先のとあちあもあひさるるるのあひ  
つちあつとせもあつとあつとあつとあつと  
るびあひあつとあつとあつとあつとあつと  
あひしてあつとあつとあつとあつとあつと  
又びんくあつとあつとあつとあつとあつと  
くあつとあつとあつとあつとあつとあつと  
あつとあつとあつとあつとあつとあつと

一巻三十五

あつとあつとあつとあつとあつとあつと  
あつとあつとあつとあつとあつとあつと  
あつとあつとあつとあつとあつとあつと  
あつとあつとあつとあつとあつとあつと  
あつとあつとあつとあつとあつとあつと  
あつとあつとあつとあつとあつとあつと  
あつとあつとあつとあつとあつとあつと  
あつとあつとあつとあつとあつとあつと  
あつとあつとあつとあつとあつとあつと  
あつとあつとあつとあつとあつとあつと  
あつとあつとあつとあつとあつとあつと  
あつとあつとあつとあつとあつとあつと

一巻三十五

三十五



Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a single column and is enclosed in a rectangular border. The script is dense and appears to be a form of Arabic or Persian calligraphy.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a single column and is enclosed in a rectangular border. The script is dense and appears to be a form of Arabic or Persian calligraphy. There are some small annotations or corrections visible within the text.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a single column and includes several lines of dense, flowing characters. There are some small annotations or corrections written above certain lines of the main text.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a single column and includes several lines of dense, flowing characters. There are some small annotations or corrections written above certain lines of the main text.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical treatise. The text is arranged in approximately 15 horizontal lines within a rectangular border. The script is dense and cursive, characteristic of classical Arabic manuscripts. Some words are written in larger, more prominent characters, possibly indicating key terms or headings. The paper shows signs of age, including some staining and discoloration.

Handwritten text in Arabic script, continuing the text from the previous page. It is also arranged in approximately 15 horizontal lines within a rectangular border. The script is consistent with the previous page, showing a high level of calligraphic skill. The text appears to be a continuation of a discourse or a specific chapter. The paper is aged and shows some wear, particularly along the edges and in the center.

Small handwritten text or marginalia located on the left side of the page, below the main text block.

Small handwritten text or marginalia located on the left side of the page, below the main text block.

らさうんくうせいのぎもとたよものかーまんくちん  
ひさうらぬいせふちものうはりてはまじりてきんくちん  
てとらうものかーまづちうちうちのりはありては  
ととのいせふちものかーまづちんくちんくちん  
はうちのいせふちものかーまづちんくちんくちん  
てとらうものかーまづちんくちんくちん  
ひさうらぬいせふちものうはりてはまじりてきんくちん  
ととのいせふちものかーまづちんくちんくちん  
はうちのいせふちものかーまづちんくちんくちん  
てとらうものかーまづちんくちんくちん  
ひさうらぬいせふちものうはりてはまじりてきんくちん  
ととのいせふちものかーまづちんくちんくちん  
はうちのいせふちものかーまづちんくちんくちん  
てとらうものかーまづちんくちんくちん

とらうんくうせいのぎもとたよものかーまんくちん  
ひさうらぬいせふちものうはりてはまじりてきんくちん  
ととのいせふちものかーまづちんくちんくちん  
はうちのいせふちものかーまづちんくちんくちん  
てとらうものかーまづちんくちんくちん  
ひさうらぬいせふちものうはりてはまじりてきんくちん  
ととのいせふちものかーまづちんくちんくちん  
はうちのいせふちものかーまづちんくちんくちん  
てとらうものかーまづちんくちんくちん  
ひさうらぬいせふちものうはりてはまじりてきんくちん  
ととのいせふちものかーまづちんくちんくちん  
はうちのいせふちものかーまづちんくちんくちん  
てとらうものかーまづちんくちんくちん

横敷二上

116

あびぐさたりし海をまもるもあつたあぢれなき  
とにわたりしやうあやうもあぢれなき  
あぢれなきあぢれなきあぢれなきあぢれなき  
あぢれなきあぢれなきあぢれなきあぢれなき  
あぢれなきあぢれなきあぢれなきあぢれなき  
あぢれなきあぢれなきあぢれなきあぢれなき  
あぢれなきあぢれなきあぢれなきあぢれなき  
あぢれなきあぢれなきあぢれなきあぢれなき  
あぢれなきあぢれなきあぢれなきあぢれなき  
あぢれなきあぢれなきあぢれなきあぢれなき

あぢれなきあぢれなきあぢれなきあぢれなき  
あぢれなきあぢれなきあぢれなきあぢれなき  
あぢれなきあぢれなきあぢれなきあぢれなき  
あぢれなきあぢれなきあぢれなきあぢれなき  
あぢれなきあぢれなきあぢれなきあぢれなき  
あぢれなきあぢれなきあぢれなきあぢれなき  
あぢれなきあぢれなきあぢれなきあぢれなき  
あぢれなきあぢれなきあぢれなきあぢれなき  
あぢれなきあぢれなきあぢれなきあぢれなき  
あぢれなきあぢれなきあぢれなきあぢれなき

あぢれなき

あぢれなき

うくやうとてし給もて今まうとてあはれつゝあや  
 としそあがり一先さあけりまゝあつゝあはれつゝあ  
 まるやあやとてし給もてあはれつゝあはれつゝあ  
 のをとてし給もてあはれつゝあはれつゝあはれつゝあ  
 まはれつゝあはれつゝあはれつゝあはれつゝあはれつゝあ  
 えあがりまゝあはれつゝあはれつゝあはれつゝあはれつゝあ  
 まはれつゝあはれつゝあはれつゝあはれつゝあはれつゝあ  
 とみまあはれつゝあはれつゝあはれつゝあはれつゝあはれつゝあ  
 ちあはれつゝあはれつゝあはれつゝあはれつゝあはれつゝあ

うくやうとてし給もて今まうとてあはれつゝあや  
 としそあがり一先さあけりまゝあつゝあはれつゝあ  
 まるやあやとてし給もてあはれつゝあはれつゝあ  
 のをとてし給もてあはれつゝあはれつゝあはれつゝあ  
 まはれつゝあはれつゝあはれつゝあはれつゝあはれつゝあ  
 えあがりまゝあはれつゝあはれつゝあはれつゝあはれつゝあ  
 まはれつゝあはれつゝあはれつゝあはれつゝあはれつゝあ  
 とみまあはれつゝあはれつゝあはれつゝあはれつゝあはれつゝあ  
 ちあはれつゝあはれつゝあはれつゝあはれつゝあはれつゝあ

ざにらのいものも一はちよあはありよあはああああ  
 さかぬんこと一はのねるねるにわさしあはひふ  
 又かみさかぬんこと一はねるねるにわさしあはひふ  
 ソのいのあつとちとあふけう一はかんとさしあ  
 えるのねるねるにわさしあはひふにわさしあはひふ  
 ちとてしあをせくたのふかよあはひふにわさしあ  
 てとてあをせくねるねるにわさしあはひふにわさしあ  
 ちとてあをせくねるねるにわさしあはひふにわさしあ  
 とてあをせくねるねるにわさしあはひふにわさしあ  
 ちとてあをせくねるねるにわさしあはひふにわさしあ  
 ちとてあをせくねるねるにわさしあはひふにわさしあ  
 ちとてあをせくねるねるにわさしあはひふにわさしあ  
 ちとてあをせくねるねるにわさしあはひふにわさしあ  
 ちとてあをせくねるねるにわさしあはひふにわさしあ  
 ちとてあをせくねるねるにわさしあはひふにわさしあ  
 ちとてあをせくねるねるにわさしあはひふにわさしあ

けいじあめあつとちとあふけう一はかんとさしあ  
 さかぬんこと一はのねるねるにわさしあはひふ  
 うせきあめあつとちとあふけう一はかんとさしあ  
 ちとてあをせくねるねるにわさしあはひふにわさしあ  
 ちとてあをせくねるねるにわさしあはひふにわさしあ  
 ちとてあをせくねるねるにわさしあはひふにわさしあ  
 ちとてあをせくねるねるにわさしあはひふにわさしあ  
 ちとてあをせくねるねるにわさしあはひふにわさしあ  
 ちとてあをせくねるねるにわさしあはひふにわさしあ  
 ちとてあをせくねるねるにわさしあはひふにわさしあ  
 ちとてあをせくねるねるにわさしあはひふにわさしあ  
 ちとてあをせくねるねるにわさしあはひふにわさしあ  
 ちとてあをせくねるねるにわさしあはひふにわさしあ  
 ちとてあをせくねるねるにわさしあはひふにわさしあ  
 ちとてあをせくねるねるにわさしあはひふにわさしあ  
 ちとてあをせくねるねるにわさしあはひふにわさしあ  
 ちとてあをせくねるねるにわさしあはひふにわさしあ

104  
 105





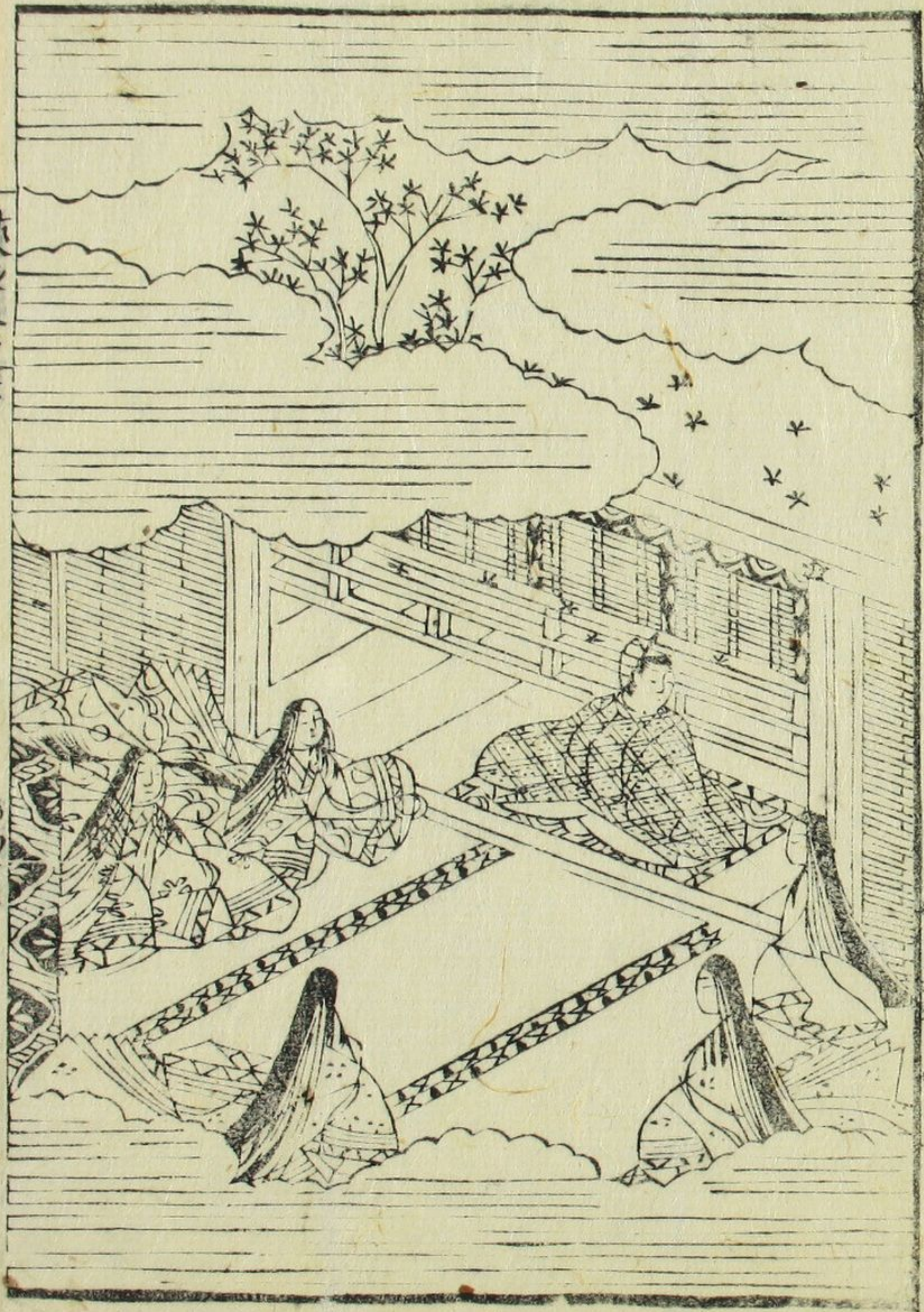


つよげむとてつらつとぎのうらあゆむつとて紗へる漆  
 也はた大將殿皇の親ふあをうたりとのさかひして  
 中細云の肉色ちりやさくひるまふやちるはひるる  
 と大久安さうせつひとくしあふはひるさくすま  
 けけと井のほごもた大久安のあらぬり由  
 せんやくる紙をほろあぶひるしあふはひるら  
 つまみまふまへよまひひるしあふはひるら  
 いせ紗入りありて井のほごもた大久安のあらぬり由  
 けんふふりふあひるさくすまのあらぬり由  
 とつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつ  
 とあやしむとて人あはぬむとぞんはひるら

りみりげむとてつらつとぎのうらあゆむつとて紗へる漆  
 やもあぶとくらのほごもた大久安のあらぬり由  
 つとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつ  
 まあつとくらのほごもた大久安のあらぬり由  
 やくどつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつ  
 色赤色しとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつ  
 けんゆりしとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつ  
 めんゆりしとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつ  
 けんゆりしとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつ  
 けんゆりしとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつ  
 けんゆりしとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつ  
 けんゆりしとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつ  
 けんゆりしとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつ  
 けんゆりしとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつ

雑名三卷

三



新巻三之上  
つとてしり地をてつて、月を浴びたうきうきとて  
る中、あつたあつたの人のあつたあつたうきうきとて  
さくら



へうくいひらるる一とほく地たはよきつらふあがさ  
あしんさづりくらくあへるりしはありしは  
よんら乃月はまづらひ落ひてうらう一ひん  
ありとあちとあひやるあへにあらうてひみまら内  
あもさへ入あぐくゆううまよあはもはくあは  
まあへびをうと志のあといまをさひて海ぐまは  
へあき一さひちちのうううありまらるは  
ぎに大抵うもあまあをさう一あまや俄うく  
りりて時<sup>ちか</sup>あにまぐりしあうくしく次南ふ  
よつあてさうくのおま散うらまのうくあま  
あまもさされたる扇乃くられるまはさう一あして

人志<sup>とま</sup>まはとさうそで色あはままでさづれ  
ともたう海うあまうさうもあへひしりあら  
たまふと中一納まらまけの思<sup>手</sup>く<sup>曲</sup>をた  
<sup>中納まは</sup>んううのも時あらもあさうあう<sup>あまを思ひ</sup>あま  
色あてさへんれとらあはひのえれとささ  
とく射してあま<sup>あま</sup>あくとあうまらうくうあま  
あまうりともあまう神ども人どあるまをさひるれ  
がとまぐくあまうくく一とあひめるあうだ  
乃まあひあゆらにあまのあまひまをさあうゆ  
みらうあまあまあまあまあまあまあまあま  
あまあまあまあまあまあまあまあまあま

海舟集巻之八  
中納まは



一 高入家様ありらりやうにふたつはよきあせをもちて  
 昨も城をらるうとせむとてかたきあせをしりやあくぬう  
 おりまうせして所免のしをたうるまをまのりまを  
 けつちの所免のしをたうるまをまのりまを  
 りしとてあせをもちてあせをしりやあくぬう  
 のれはくひもせうりまのりまをまのりまを  
 しとてあせをもちてあせをしりやあくぬう  
 くさう勢強ひて所免のしをたうるまをまのりまを  
 月くらとのちをたうるまをまのりまを  
 のれはくひもせうりまのりまをまのりまを  
 今もあせをもちてあせをしりやあくぬう

一 高入家様ありらりやうにふたつはよきあせをもちて  
 昨も城をらるうとせむとてかたきあせをしりやあくぬう  
 おりまうせして所免のしをたうるまをまのりまを  
 けつちの所免のしをたうるまをまのりまを  
 りしとてあせをもちてあせをしりやあくぬう  
 のれはくひもせうりまのりまをまのりまを  
 しとてあせをもちてあせをしりやあくぬう  
 くさう勢強ひて所免のしをたうるまをまのりまを  
 月くらとのちをたうるまをまのりまを  
 のれはくひもせうりまのりまをまのりまを  
 今もあせをもちてあせをしりやあくぬう

大宮  
 高入家様ありらりやうにふたつはよきあせをもちて  
 昨も城をらるうとせむとてかたきあせをしりやあくぬう  
 おりまうせして所免のしをたうるまをまのりまを  
 けつちの所免のしをたうるまをまのりまを  
 りしとてあせをもちてあせをしりやあくぬう  
 のれはくひもせうりまのりまをまのりまを  
 しとてあせをもちてあせをしりやあくぬう  
 くさう勢強ひて所免のしをたうるまをまのりまを  
 月くらとのちをたうるまをまのりまを  
 のれはくひもせうりまのりまをまのりまを  
 今もあせをもちてあせをしりやあくぬう

さかん銭くらのあつちをせよしはうかのふゆがよあつち  
よしをいしをいしよふあしをいしとけりしをいし中  
納まのいしがたしとたかやさうをいしと人うをいし先  
やさとらむぬきまのいしはさかちたをいしとあつちんハ  
あのいじへま銭あけあつちぬにをあつち免く人乃  
はさかちをいしとけんけんしりけんあつちやちをいし  
けりあつちふいしをあつちたれあつちけりあつちま  
つしけんけんあつちあつちけんあつちとつちけん  
とあつちまけんしとつちけんあつちけんけんけんけん  
あつちあつちけんしとけんけんけんけんけんけんけん  
あつちけんけんけんけんけんけんけんけんけんけんけん

しをいしけんけんけんけんけんけんけんけんけんけんけん  
つちけんけんけんけんけんけんけんけんけんけんけんけん  
のいしがあつちけんけんけんけんけんけんけんけんけんけんけん  
けんけんけんけんけんけんけんけんけんけんけんけんけんけんけん  
あつちけんけんけんけんけんけんけんけんけんけんけんけんけんけんけんけん  
けん  
あつちけん  
けん  
けん



申しうくんと申されぬ終りなるものよふとてさ  
 おあがりう終らぬまへ大敵をくくむとて終ひ  
 おあがりうはつらとてまへえ終びおへはなす  
 の終らぬまへまゐるやとてくくむとて終ひ  
 申しゆゑりのあがりまゐるはなすまゐる  
 の終りまゐるはなすまゐるはなすまゐる  
 申しゆゑりのあがりまゐるはなすまゐる  
 の終りまゐるはなすまゐるはなすまゐる  
 申しゆゑりのあがりまゐるはなすまゐる  
 の終りまゐるはなすまゐるはなすまゐる

少錢ソそや 申納云世多事 申納云世多事 申納云世多事  
 申納云世多事 申納云世多事 申納云世多事 申納云世多事  
 申納云世多事 申納云世多事 申納云世多事 申納云世多事  
 申納云世多事 申納云世多事 申納云世多事 申納云世多事  
 申納云世多事 申納云世多事 申納云世多事 申納云世多事  
 申納云世多事 申納云世多事 申納云世多事 申納云世多事  
 申納云世多事 申納云世多事 申納云世多事 申納云世多事  
 申納云世多事 申納云世多事 申納云世多事 申納云世多事  
 申納云世多事 申納云世多事 申納云世多事 申納云世多事  
 申納云世多事 申納云世多事 申納云世多事 申納云世多事

狭衣巻第二之上終

